

❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖
❖ お知らせコーナー ❖
❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖
■赤社資募集にご協力を

5月は赤十字誕生月です。この5月を中心に、全国一斉に赤十字社員増強運動が展開され、事業資金の募集が行われます。皆さんの活動によって集められた社費や寄附金は国内はもとより全世界の平和と福祉増進のため、人道・博愛を旗印に数々の事業を進めるための資金となります。大津島地区の社資募集目標額は12万6千7百円となっております。運動の趣旨をご理解の上ご協力をお願いします。

各種団体の役員会

5月16日（金）市大津島支所で、コミュニティ・地区社協・観光協会の役員会が開催されます。

高齢者ふれあいスポーツ大会

5月25日（土）第2回高齢者ふれあいスポーツ大会が市陸上競技場で開催されます。大津島地区からは36名が西部地区の選手として出場します。

雨天の場合は5月26日（日）に順延となります。

各種団体の総会

5月28日（火）刈尾自治会館で、コミュニティ・地区社協・観光協会の総会が開催されます。

スポーツシーズン開幕♪ ○○○ソフトバレーをしましよう。○○○

日 時 毎週月曜日の午後7時～10時

場 所 大津島小学校体育館

①各自運動のできる服装と体育館用の上履きを準備して参加下さい。

②お問い合わせ 高松悦子☎85-2352 へ

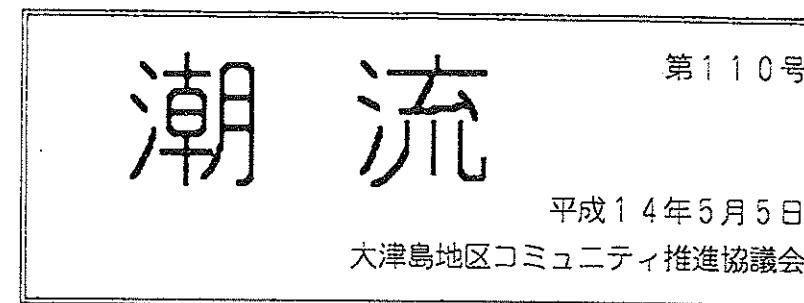
ゲートボールをしましよう。□□□□□

日 時 毎週水曜日の午前8時～午後4時

場 所 本浦ゲートボール場

①各自運動のできる服装で参加下さい。お問い合わせ 屋野廣志☎85-2031 へ

②編集後記…風薰る五月島は新緑につつまれ、道路沿いにはツツジが咲きほこり道行く人の心を和ませてくれます。この大型連休中、大津島には雨の中多くの家族連れが訪れ、魚釣りや散策を楽しんでいました。休暇を楽しんだ後は、爽やかな気持ちで仕事に頑張りたいものです。



大津島桜まつり

4月7日（日）大津島小学校のグラウンドでは、大津島春の一大イベントとしてすっかり定着した感のある、恒例の「桜まつり」が賑やかに開催されました。

前日からの悪天候下での開催にためらいがありました。天気予報を信じて早朝から会場のづくりが進められました。徐々に天候が回復して行き祭りの始まる頃には青空が見られるようになり安心です。

会場周辺の桜ももう少し楽しめる状態で、早朝から定期船等を利用して大勢のお客さんが訪れ、舞台で繰り広げられる若柳流一行の舞踊や松原カラオケ教室の皆さんのかラオケを堪能していました。



須金・大津島の交流会

4月7日(日)大津島桜祭りの開催されている会場で、須金と大津島地区のお年寄りが春の交流会行いました。この会には、折から来島されていた前徳山市長の小川亮さんも飛び入りで参加され、皆さんから大歓迎を受けました。桜まつりの催しを楽しみながら大いにふれあいを深め、楽しい一日を過ごしました。



大津島地区体育振興会

平成14年度の体育振興会の委員（敬称略）です。よろしくお願ひします。

近江	石田 悟・石田 漢正	馬島1	石丸 賴時・佐藤 政男
瀬戸浜	赤瀬 清次・弓崎 友明	馬島2	古城 秀昭・佐藤 哲生
刈尾	安達 登喜久・安達 幸治	馬島3	石丸 貢・宗 正雄
本浦東	石田 邦子・御手洗 正	馬島4	石丸 望・佐藤 賢治 ☆藤原 智美
本浦中	☆安達 恭一・田村 豊	馬島5	◎古城 隆夫・松本 厚
本浦西	安達 雅之・内田 相司		
天浦	○安達 曜	柳浦	古城 圓・佐藤 明男

◎は会長○は副会長☆は県民スポーツ推進員

- 2 - ◇徳山市体育指導委員は河島元一

全日本「小さな親切」作文コンクール 優秀賞 人と人とをつなぐ言葉

徳山市立大津島中学校一年 古城 涼太

僕は大津島という小さな島に住んでいます。大津島は、お年寄りの方が人口の半分以上います。

僕が遊んだり、歩いている時などよくお年寄りの方に会います。そして「おはようございます。」や「こんにちは。」「さようなら。」と言うと、知らない人でも大津島の人は、「おはよう。」や「こんにちは。」「おかえり。」と僕がその人の子供であるかのように温かい言葉で返事をしてくださいます。たまにあいさつをしてそのまま学校の話をするときだってあります。この大津島の人は、町の方から船に乗って遊びに来ている人にでも優しく、道の分からぬ所を聞かれると教えてあげたり、それに、大津島の昔話や、いい場所を教えてくださったりもします。こんな人たちにあいさつをすると自分も少しうれしくなります。しかし、船で町へ出かけると、大津島の人とは違うこちらがあいさつをしても、返事もしないし、頭を少しでも下げて返事をしてらううれしいけれど、頭もそのまで通り過ぎて行ってしまいます。

大津島の人だったら、「こんにちは。」とか言うのにどうして町の人はだまっているのだろうかと思います。お互いにあいさつをすれば、なんだかうれしくなるけど、自分があいさつをしたのに、返事を返してくれないと少しさびしくなります。

町の人や島の人はどうしてあいさつをするしないが違うのだろうと思いました。

町は人がたくさんいるけど、大津島には人が少ないせいかもしれません。

しかし、人が多い少ないなど関係なしにあいさつは、だれでもどんな人にも出来ることだから、みんながあいさつをすれば、世界のどんな人とも仲良くなれると思います。自分の知っている人だからあいさつをする。自分の知らない人だからあいさつをしない。違う国の人だからあいさつをしない。それは違うと思います。

いろいろな国の人があるいろいろな国の言葉で、いろいろな場所であいさつをして友だちになってつながっていくんだと僕は思います。

あいさつは、だれに言うのにも決まっていない、世界の誰かをつなぐ言葉だと思います。

入賞おめでとう。

昨年小さな親切運動中央本部が行った全日本「小さな親切」作文コンクールに全国の小・中学生から51,349編の応募があり、その作品の中から何と大津島中一年の古城涼太君が見事優秀賞に輝く快挙がありました。心から祝意を表します。

- 3 -

コミュニティ会長